

10th Anniversary



しるね図書館だより

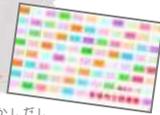
十周年

No.122

発行 新潟市立白根図書館
平成22年7月発行
<http://www.niigatacitylib.jp/>



まずはカードを新しく!



今までのカードが使えなくなり、新潟市の共通貸出カードになりました。まずは、カウンターで新しいカードをつくりましょう。申込用紙に記入して、免許証など、住所が証明できるものといっしょに出してください。



どこでも借りて、どこでも返せる!

オンライン化した図書館でなら、どこで借りるのも、返すのも自由。たとえば、ほんぽーとで借りた本を、しるね図書館で返したりもできます。※AV資料は、借りたところでしか返せないものもあります。



お取り寄せがよりスムーズに!

オンライン館の資料は、お客さま自身でもホームページなどから「お取り寄せ」することができます。その数、およそ150万冊! しかも、貸出中でなければこれまでよりも早くお手元に届きます。



インターネットもできます!

図書館のなかに、インターネットができるパソコンがはいりました。本の予約をしたり、ちょっとした調べものをしたりと、便利にお使いいただけます。

あたらしいしるね図書館、はじめます。

7.12 RENEWAL OPEN

お休みの間は、たいへんお待たせいたしました。しるね図書館は7月12日、新潟市の図書館とひとつのシステムでつながって生まれ変わりました。



これだけには気がつけて!

借りられる冊数は、オンライン館全体のなかで10冊までです。たとえば、ほんぽーととしるね図書館でそれぞれ10冊ずつ借りることはできなくなります。いままでもちも利用されていた方は、ご注意ください。



本が「おでかい」することも!

ほかの図書館からもしるね図書館の本を予約できますので、読みたい本がほかの館へ移動することもあります。また、予約の順番は、オンライン化された全館で何番、というあつかいになります。人気の本は競争率がとても高くなりますので、お早目のご予約をおすすめします。



これがオンライン館だ!

同じシステムでつながった、しるね図書館の兄弟たちです。こちらもどうぞご利用ください。中央・月潟・岩室・潟東・松浜・山の下・石山・舟江・鳥屋野・生涯学習センター・亀田・坂井輪・内野・黒崎・西川

仏像のひみつ

山本 勉 著 / 川口澄子 イラスト

朝日出版社 (一般718ヤ)



先日、仏像展を見に行ってみました。とい「ても、特に仏像に寄り添うような日々を送っているわけでもなく、め「たに見られない珍しいものが来るようだから見ておくか!」くらいの軽いキモチです。

ところが会場は大変な人ばかりで、仏像を見たいという人がこんなにもいることに驚いてしまいました。個人的には結構楽しめたのですが、本当はなにかも「と、たいそう面白く鑑賞するツボか何かあって、あちらの紳士も、こなたの歴史も、同じ仏像を見ていながらも「とエキサイトしているのではあるまいか!と、ついつい勘繰ってしまう次第。

お出かけ前に鑑賞ガイドのひとつも目を通しておきたか「たトコロですが、正直に申せば、なんだかどれも、マニアックで抹茶くさい感じがして、あまり手に取る気になれなかつたワケで。帰「てから見つけたのが、この本でした。

この本のいいトコロは、とにかくわかりやすく、おもしろい!というところ。仏像というものを理解するために、4つの「ひみつ」に的を絞「って、ソフトな語り口と、魅力的な切り口で教えてくれます。仏像たちにもソシキがあるとか、「やわらかい」と「カタイ」のがあるとか、やせたり太「たりするとか……。

仏像のクセに(失礼!)かわいらしいイラストも満載で、どなたでもと「つきやすいフレーザーに満ちています。もともと小中学生向けの仏像展の内容を本にしただけに、小難しい話はい「っさいナシ!

もちろん、興味本位の薄「べらな

内容というわけではなく、深くて広いと推察される仏像ワールドから、本当に大切なエッセンスだけうまく抽出してわかりやすく調理しています。仏像への愛が伝わ「ってくる一冊です。

ひとつだけ、つくづく残念なのが、仏像展に行く前に読みたか「たこと!とにかく、初めて仏像を見に行こうという人におススメします。

※本の中のイラストとは異なります。



6月のキロク



来館者……………14,824人
貸出冊数……………15,651冊
予約件数……………247件
ブックバス利用者……………484人
ブックバス貸出冊数……………1,576冊

予約ランキング ※6月分

- 1位 1Q84 ①・② (22名)
- 2位 小暮写真館 (11名)
- 3位 カッコウの卵は誰のもの (10名)
- 4位 新参者 (8名)
- 1Q84 ③ (8名)

蔵書点検も終わりました!

ついでに(?)



「蔵書点検」は、図書館にあるすべての本やその他の資料を、ひとつひとつ点検する「たなおろし」作業です。こうすることで、行方不明の本を見つけたり、使いやすいようにキチンと整理したりすることができるのです。とても気長にやる必要があるシゴトのため、いつもは2月にお休みをいただいてやっている蔵書点検ですが、今回は、システム統合の作業の間に終わりました。ですので、次の2月には蔵書点検のためのお休みはありません。点検のくわしい結果は、次号でお知らせする予定です。



読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

夕チ

はるかなるモンゴルをめざして

ジエイムス・オルドリッジ 著

(評論社)



夕チは、モンゴルから

イギリスの保護地に送られた、

絶滅寸前の貴重なモンゴル馬。

ところが、夕チはポニーのブープと

ともに忽然と姿を消してしまいます。

— 故郷に帰る。

ひたむきな思いに貫かれ、海峡を越え、

大陸を横断しモンゴルを目指す夕チ。

モンゴルの少年バリユートと、

イギリスの少女キティーの

交わす手紙が綴る、

誇り高き野生馬の旅物語です。

★★★ 参加者の感想から ★★★

- ◆ これまでに何度か勧められていた本。たぶん結末もなんとなく聞いていたが、ぼんやりとしていたこともあって話を楽しむ事ができた。すすめてくれた人の気持ち少しわかる。誰かにもすすめてみたい本。
- ◆ 馬をなかなか実際にみる機会が多くはないが、以前に見た時のこともきれいな動物という印象を思い出した。
- ◆ この物語の書き方の特徴であるモンゴル人の少年とイギリス人の少女の手紙のやりとりという話の展開がとても読みやすい。この手紙も同じ言語でないことで細かな表現や雰囲気や相手にわかりやすく伝えようという思いが感じられた。口癖は相手を気遣って話すというより、伝えるという思い込みで話す事が多いかもしれないと思った。
- ◆ “夕チ”というこの物語(手紙)で語られている馬、蒙古野馬について全く知らなかったけれど、動物保護、馬の本能、性質などを知り物語の奥の深さを感じた。著者が伝えようとしたことを受け止められたのか。
- ◆ 夕チはどっしてそんなにまでしてモンゴルに帰りたいのかの理由? 保護地の暮らしもまた十分に良いと考えるのは人間だけなのか、それとも夕チだから保護地には暮らせないのか。そんな夕チにとても魅かれながら読めた。
- ◆ イギリスから海を渡りモンゴルへと帰る道程には驚くことばかりだった。遠く離れたモンゴルとイギリスから夕チについて知るかぎりの情報をやりとりした手紙。これには、どんどん引き込まれていった気がする。日数がかかっているから、正確な情報ではなくてもこの手紙しか頼れるものがないという感覚は現在にはもつない気がする。
- ◆ 馬だけでなく、少年と少女の成長も読み取れてこの年代の子ともたちに読んで欲しい本。でも、誰かに勧められなければ読まないかもしれない。それなら、機会があれば紹介してみたい。

(大野)

次回の読書会

7月18日(日) 14:00~



参加するのに申込は要りません。本は図書館カウンターにありますので、それを読んだら当日学習館2階のルーム2へおいでください。おいしいお茶とお菓子和楽しいトークが待っています★

生と死が創るもの

柳澤桂子 著 (草思社)

生命のしくみと、その不思議さを伝える生命学者、柳澤桂子。彼女の死生観がいま、注目を集めています。病に倒れ、闘病生活の中から紡ぎ出される、一言、そしてまた一言。冷静な科学者としての視線と、いのちへの温かなまなざし。眼前に迫る死を見つめながら、生と死の意味を問い直すエッセイです。



もぐらとずぼん



もぐらは、土の中で
たからものを見つけました。
そのたからものを入れられるような
大きなポケットのついた
青いずぼんがほしくてたまりません。
ねずみやちょうちょに
聞いてみますがわかりません。
えびがにに聞くと、
きれをもってくれば
切ってあげるといいです。
よしきりは、ずぼんのかたちに
切ったきれをもってくれば、
ぬってあげるといいです。



(福音館書店)

エドアルド・ペチシカ ぶん
ズデネック・ミレル え

もぐらがどうやらよかったらよいか
わからずにいっていると、
そばにさいていたあまの花が
作りかたをおしえてくれました。
それから、もぐらは
せっせとせわをします。
あまに言われた
とおりになると……。
わが家で、娘や息子と一緒に
楽しんだ絵本です。
つぎつぎに登場する虫や
どうぶつがユーモラスです。

7/29 木 としよかんたんけん隊

ふだんは見られない図書館の中を案内してもらいながら、利用の仕方を楽しく学べるツアーです。

午前の部	9:00~11:45	いずれかを 選んでください。
午後の部	13:30~16:15	
対象	小学校3年生~4年生	
定員	各回先着4名(要申込)	
申込方法	7月19日 9:30から電話にて (372-5510) 受付を開始します。	

夏 Green House ほんかい

8/7 土 こわ〜いおはなし大会

夏休みは、いつもの「おはなし会」とちょっと違ったお楽しみ！
こわい話や、フシギな話を集めたおはなし大会がやってきます。
カーテンをしまって、ろうそくの灯りを前に、こわいおはなしを聞きますか。



1回目	14:10~	←1回目は乳児と親子向け 2回目(ひとりで聞ける人向け)からは、当日配布する整理券(各回30人まで)が必要です。
2回目	14:30~	
3回目	15:00~	
4回目	15:30~	

7/12~8/7の行事

7月17日(土) 絵本のじかん 14:10~ おはなし会 14:30~	7月25日(日) 雑誌リサイクル
7月18日(日) 読書会(ル42) 14:00~	7月29日(木) 図書館たんけん隊
7月24日(土) おはなしかご例会 10:00~ 絵本のじかん 14:10~ おはなし会 14:30~	7月31日(土) 絵本のじかん 14:10~ おはなし会 14:30~
8月7日(土) こわ〜いおはなし大会	

夏のおもいで

今年もまた、夏がやってきます。
かつての子どもたちには、あのアツかった日々をもういちど。これからの大人たちには、いつの日にか、懐かしく思いかえす楽しい記憶を。あなたのステキな思い出につながる、夏の1冊をご紹介します。



運休
システム統合などのため、学校の夏休み明けまでブックバスの運行をお休みさせていただきます。9月から再開予定です。